



[丸山地域]

実施者

- ◀教員▶ 千葉工業大学 情報科学部 情報ネットワーク学科 助教 中川 泰宏
千葉工業大学 社会システム科学部 プロジェクトマネジメント学科 教授 加藤 和彦
- ◀学生▶ 千葉工業大学 情報科学部 情報ネットワーク学科 中川研究室
千葉工業大学 社会システム科学部 プロジェクトマネジメント学科 加藤研究室
- ◀協働パートナー▶
【行政関係】南房総市役所 市民生活部 市民課 市民協働グループ, 南房総市観光協会
【企業等】みねおかいきいき館 (南房総市大井), 篠笛楽工房 (群馬県), 篠笛工房惣竹 (東金市), 合同会社いいもんだ (香取郡神崎町)
【市民団体等】南房総市大井区, 東金市篠笛ワークショップ実行委員会 (東金市)

1. 背景・目的

本プロジェクトは、南房総市で広範囲に群生する篠竹の有効利用と、その事業化を目的とする。具体的には、伝統工芸品である篠笛に向けた篠竹が同市に広く自生していることから、この篠笛をブランド化して販売すると共に、素材としての篠竹も合わせて販売することを目指している。このプロジェクトの活動は、2018年度の「空き公共施設利活用プロジェクト」から始まり、2020年度の「人材育成支援プロジェクト」を経て、2021年度に新たなプロジェクトとして独立し、現在に至る。活動場所には、篠笛に適した篠竹が豊富にあり、他のプロジェクトと協働活動を行い、すでに協力関係を築いていた大井地区を選定している。このプロジェクトの発足の前段階として、2018年度に試験的な篠竹の採取を始め、篠笛文化の周知を行う活動として篠笛ワークショップを開催した。その後も継続的に篠竹の採取を行いながらノウハウを蓄積し、同時に市民向けのワークショップも開催することで、南房総市における篠笛のブランディング化活動を続けている。このポスターでは2023年度に活動した取り組みについて報告する。

2. 活動内容

このプロジェクトは、南房総市の篠竹を篠笛としてブランド化するとともに、篠竹を素材化して販売することを目指している。これまでの活動を通じて工程化した篠笛作成の流れを表-1に示す。篠笛は直径2cm程度の太さを持つ篠竹を素材とするが、篠竹が演奏可能な篠笛となるまでにはいくつかの工程が存在する。これらの工程を大きくまとめると、工程番号1～5番の篠竹採取、工程番号6～

7番の篠竹保管、工程番号8～11番の篠笛作成の三つに分けられる。ここで、一つ目の篠竹採取は、採取・切断・選定・煮沸・洗浄の5つの小工程に分けられ、二つ目の篠竹保管は天日干し・陰干しの二つの小工程に分けられる。そして三つ目の篠笛作成は、製管・調律・色塗・籐巻の4つの小工程に分けられる。今後、持続可能な事業として篠竹の販売・利用をするためには、いくつかの販路ないし有効活用するための用途の確立が必要となる。本プロジェクトでは、以下の4つの手段で篠笛・篠竹の販売・利用することを計画している。

- ① [愛好家向け] 篠笛用素材としての篠竹の販売
- ② [工房向け] 篠笛用素材としての篠竹の販売
- ③ [一般向け] 篠笛ワークショップでの利用
- ④ [一般向け] オリジナルブランドとしての篠笛の販売

このうち、③については、篠竹を採取している地元大井の体験館「みねおかいきいき館」にて2020年12月から実現しており、継続的にワークショップを開催しながらノウハウの現地への移管を進めている。また、本年度からは①②の延長線上で③の枠組みで東金市の篠笛ワークショップでの利用も進めており、需要拡大に向けた市外での利用も進めた。ここで、2023年度の本プロジェクトの活動内容を表-2に示す。本プロジェクトは表-1の工程1～7の篠笛用篠竹の準備と、工程8～11の篠笛ワークショップの二つに分けて活動を行っている。2023年度は、篠竹の準備を例年通りこなしつつ(活動2,9)、これまでに採取した篠竹を有効活用して篠笛

表-1 篠竹の採取から篠笛作成までの工程

no.	工程名	工程内容	日程
1	篠竹の採取	竹林から篠竹を採取する	1月
2	節の切断	採取した篠竹を節単位で切断する	2月
3	篠竹の選定	切断した篠竹から篠笛に利用できるものを選定する	
4	煮沸(油抜き)	選定した篠竹の油抜きと煮沸殺菌する	
5	洗浄	煮沸した篠竹の汚れを落とす	
6	天日干し	篠竹の色抜きと篠竹の耐候性を確認する	3月
7	陰干し	陰干しによる長期の保存によって耐候性を確認する	1年上
8	製管(初級講座)	篠竹に穴を空けて音がなるようにする	随時
9	調律(中級講座)	製管した篠笛の音を調律する	
10	色塗(上級講座)※予定	調律した篠笛に仕上げとして色を塗る	
11	籐巻(上級講座)※予定	篠笛の割れ防止とデザインのために籐を巻く	

表-2 2023年度活動内容

no.	日程	活動内容	会場
1	2023/4/8 (土)	篠笛ワークショップ(工程8)	みねおかいきいき館(※)
2	2023/7/2 (日)	篠竹の煮沸、洗浄、選定、天日干し(工程3～6)その後、陰干しへ(工程7)	みねおかいきいき館(※)
3	2023/8/19 (土)	篠笛演奏会	みねおかいきいき館(※)
4	2023/8/20 (日)	篠笛ワークショップ(工程8)	みねおかいきいき館(※)
5	2023/8/27 (日)	篠笛ワークショップ(工程8) ※南房総市産篠竹の利用	道の駅みのりの郷 東金(東金市)
6	2023/12/10 (日)	篠笛ワークショップ(工程8) ※南房総市産篠竹の利用	ショッピングモールサンピア(東金市)
7	2023/12/16 (土)	篠笛演奏会(篠笛と星空の夕べ)	みねおかいきいき館(※)
8	2024/1/27 (土)	お囃子演奏体験 ※南房総市産篠竹の利用	東金中央コミュニティセンター(東金市)
9	2024/2/17 (土)	篠竹の採取・切断(工程1,2)	みねおかいきいき館(※)

※南房総市大井



図-1 篠笛ワークショップで篠笛を作る様子(2023/8/20)



図-2 南房総市外篠笛ワークショップでの大井産篠竹の利用(2023/12/10)



図-3 大井地区での篠竹採取の様子(2024/2/17)

域学協働の工夫!

- ★事業を後押しする行政との協力関係
- ★地域住民の理解と協力
- ★専門性の高い人材を現地とつなげる工夫
- ★ステークホルダーの相互利益につなげる取り組み
- ★オンラインツールを利用した関係者との緊密な連携

ワークショップを複数回開催し(活動1,4,5,6)、演奏企画も合わせて行った(活動3,7,8)。また、2023年度は南房総市のワークショップに留まらず、市外開催のワークショップにも篠竹の提供を行うことで、その利用範囲を広げている。この活動の様子として、2023年8月20日の市内篠笛ワークショップの取り組みを図-1に、2023年12月10日の市外篠笛ワークショップの取り組みを図-2に、2024年2月17日の篠竹採取の取り組みを図-3に示す。

3. 成果と課題

地域貢献面においては、篠笛工房の協力のもと、2018年度から継続的な取り組みを行うことにより、篠竹の採取から販売に至る工程がある程度確立している。本年度は市外のワークショップへ篠竹の利用を広げ、道の駅の活動PRビデオ等で南房総市産の篠竹が紹介されるなど利用範囲の拡大とブランディング化が行われ、今後の需要拡大に向けて貢献ができたものと考えられる。

教育面においては、子供達向けに数多くの篠笛ワークショップを開催し、篠笛演奏企画も複数用意することで、篠笛の作成体験と

- *表彰・マスコミ掲載など
- ・特になし

演奏体験を通じた伝統文化の継承に貢献している。また、本年度は、留学生を対象にしたワークショップも開催することにより、日本の伝統文化の魅力を海外へ情報発信するきっかけも作れたものと考えられる。

4. 今後の展開

関係者の努力により事業化が少しずつ進み、現地ワークショップとしても定着しつつある。一方で篠竹の採取からワークショップの開催に至るまで、現時点では千葉工業大学と東金市篠笛ワークショップ実行委員会、各種篠笛工房の支援に依存するところが大きい。今後は事業の現地化を進めるべく地元関係者への継続的な支援を行うと共に、南房総市の各種関係団体との交流も深めることで事業の現地化を進めていく予定である。